

「新版 量子論の基礎」初版第 14,15 刷から 16 刷への加筆・修正・変更点
(第 14 刷と第 15 刷は同じです)

※ ページ数や行数は、初版第 15 刷のものです。それ以前の刷とは、最大で 1 ページずれていることがあります。

ミスプリントなどを修正するために必要な、加筆・修正・変更点

- p.77, 例 3.15 (シュレディンガーの波動関数になるためにはシュレディンガー表現に限定する必要があるため)
「あるいはシュレディンガーの波動関数」を削除
- p.118, (4.34) 式の上 (シュレディンガーの波動関数になるためにはシュレディンガー表現に限定する必要があるため)
座標表示の波動関数にほかならないが、シュレディンガーの波動関数と呼ばれたりもする。
↓
座標表示の波動関数にほかならない。
- p.123, (4.59) 式を含む段落の冒頭 (シュレディンガーの波動関数になるためにはシュレディンガー表現に限定する必要があるため)
座標表示の波動関数にほかならないが、シュレディンガーの波動関数と呼ばれたりもする。
↓
座標表示の波動関数にほかならない。
- p.123, (4.59) 式の直後
座標表示の (シュレディンガーの) 波動関数である。
↓
座標表示の波動関数である。

間違っているわけではないが、わかりやすく改良するための加筆・修正・変更点

- p.119, 4.3.1 項の最後の段落
シュレディンガー表現 (Schrödinger representation) と呼ぶ。
↓
シュレディンガー表現 (Schrödinger representation) と呼び、そのときの $\psi(q)$ をシュレディンガーの波動関数と呼ぶ。
- p.124, 4.3.4 項の最後に次の文章を加える
このシュレディンガー表現を採用したときの $\psi(q_1, q_2, \dots, q_f)$ をシュレディンガーの波動関数と呼ぶ。
- 索引
シュレディンガーの波動関数, 77, 118, 123
↓
シュレディンガーの波動関数, 119, 124

以上